

20 週鳥類繁殖毒性試験と 6 週鳥類繁殖毒性試験との比較試験

対象物質	鳥類繁殖試験			
	試験法		上段：飼料中濃度 (ppm) (下段：体重当り摂取量 [mg/kg/日])	
			NOEC (NOEL)	LOEC (LOEL)
ディルドリン	6週 ^{a)}		0.4 (0.047)	2 (0.24)
	20週 ^{b)}		0.4 (0.042)	2 (0.22)
TBTO	6週	1回目	< 25 (< 3.0)	≤ 25 (≤ 3.0)
		2回目 [#]	6 (0.71)	12 (1.4)
	20週		< 25 (< 2.5)	≤ 25 (≤ 2.5)
DDT	6週	1回目	≥ 125 (≥ 18)	> 125 (> 18)
		2回目 ^{##}	< 250 (< 28)	≤ 250 (≤ 28)
	20週	1回目	≥ 125 (≥ 16)	> 125 (> 16)
		2回目 ^{##}	< 250 (< 30) ^{c)}	≤ 250 (≤ 30) ^{c)}

: 6 週鳥類繁殖毒性試験及び20週鳥類繁殖毒性試験の両方について、最低用量の25ppmで毒性が発現したため、6 週鳥類繁殖毒性試験の再試験を行った。

: 6 週鳥類繁殖毒性試験及び20週鳥類繁殖毒性試験の両方について、最高用量の125ppmで明らかな毒性が発現しなかったため、250ppm用量で両方の再試験を行った。

a) 6 週鳥類繁殖毒性試験

b) 20週鳥類繁殖毒性試験

c) 投与開始初期に全例が死亡したため、死亡までのデータを基に算出した参考値

平成 22 年度第 6 回薬事食品衛生審議会薬事分科会化学物質安全対策部会化学物質調査会・化学物質審議会第 98 回審査部会・第 103 回中央環境審議会環境保健部会化学物質審査小委員会資料より抜粋